

## ますます便利に！若狭さとうみハイウェイ 敦賀南スマートインターチェンジが開通



若狭さとうみハイウェイ(舞鶴若狭自動車道)の敦賀南スマートインターチェンジが3月に開通し、ETC搭載車両による高速道路の乗り降りがさらに便利になりました。

新たな玄関口の誕生により、嶺南地域におけるさらなる観光誘客や産業振興が期待されます。また、行楽シーズンには国道27号を中心とする幹線道路の渋滞緩和につながるほか、スマートインターチェンジ周辺で事故や急病が発生した際には、福井市や小浜市の高度医療機関へ短時間で搬送が可能になります。

## 幕末明治の先人を知る

「幕末明治福井150年博(仮称)」プレイベントを開催



来年は幕末明治から150年となる記念の年。県では、幕末明治期に数多くの先人を輩出した福井を全国に発信するためのイベントを行う予定です。

そのプレイベント「ニッポンの夜明けは福井から」を3月に開催。由利公正や橋本左内等のコミック本を監修した歴史家 加来 耕三(かく こうぞう)さんと、お笑いコンビのパックンマックンが、福井の先人の功績について語り合いました。また、松平春嶽公が食べたという蒸玉子や、庶民が口にしてきた麦、ヒエ、アワのごはんを提供するなど、当時の食生活について紹介しました。

## 泰澄大師白山開山1300年記念

ゆかりの地を巡るバスツアーを催行



現在の福井市に生まれた泰澄大師。夢に現れた女神のお告げを受け、717年(養老元年)、日本三名山のひとつである霊峰白山に初めて登りました。

白山開山1300年を記念し、今年は様々なキャンペーンを実施。3月には、泰澄の意を汲んで創建された「大谷寺(越前町)」や、白山信仰の拠点「白山平泉寺(勝山市)」等、ゆかりの地を巡るバスツアーを行い、約40名の参加者が、泰澄の歴史や功績を学びました。

★泰澄ゆかりの地を巡るスタンプラリーを実施中

詳しくは [泰澄クイズ](#)

[検索](#)

## 卵も肉もおいしい！新しい地鶏が誕生

普及に向けて協議会を設立



平成26年度から畜産試験場で開発を進めてきた新しい地鶏。卵を産んだ後、肉も食べられる卵肉兼用種で、黄身が大きい卵と、歯ごたえがあり、ジューシーな肉が特長です。

新地鶏の円滑な流通とブランド化を進めるため、3月、養鶏業者や飲食店等が集まる協議会を設立。合わせて卵、肉の試食会を行いました。

出荷予定は、卵が6月で、肉が来年5月。出荷に向けて、新地鶏の最良の調理法や、飲食店の要望に応じた生産方法を協議会で検討していきます。